

3年生修学旅行だより《特別号》

2022年5月8日(日)～10日(火) 滋賀・三重方面

◆はじめに

入学して2年間、いろいろな行事や活動が制限される中で中学校生活を送ってきました。校外学習も1度もなし。たくさんの我慢をしてきました。

なんとか修学旅行は・・・当初は九州方面で計画していましたが、バスで移動できる近隣へと行き先を変更し、実施の可能性を追求しました。けれども、実施できるかどうかはそのときの感染状況次第。4月になっても毎日の感染状況にハラハラ。そしてようやく行くことができました。

1日目①： 信楽での陶芸（手びねり）体験



陶芸（手びねり）体験の会場に入ると、1人1人の目の前には、手回しろくろの上に、粘土がでーんと乗っています。説明を受けた後、粘土を手にとり作業にとりかかりました。ひもづくりといって粘土をちぎってひも状にし、土台の粘土に輪状に積み上げていきます。何本か積み上げ指で成形していきます。粘土遊びは幼稚園以来？みんな苦戦しながらですが、思い思いの作品を仕上げていきました。

1日目②： 琵琶湖でのカヌー体験

琵琶湖では、思いのほか風が強く、波が立つ中でのカヌー体験となりました。波・風のせいで、なかなか前に進まなかったり、思った以上に水がかかってびしょぬれになったり、中には転覆する子、友達の乗ったカヌーを押し出すときに勢い余ってドボンする子もいたりしましたが、みんな協力し合いながら、1人乗り、2人乗りのカヌーを漕艇しました。

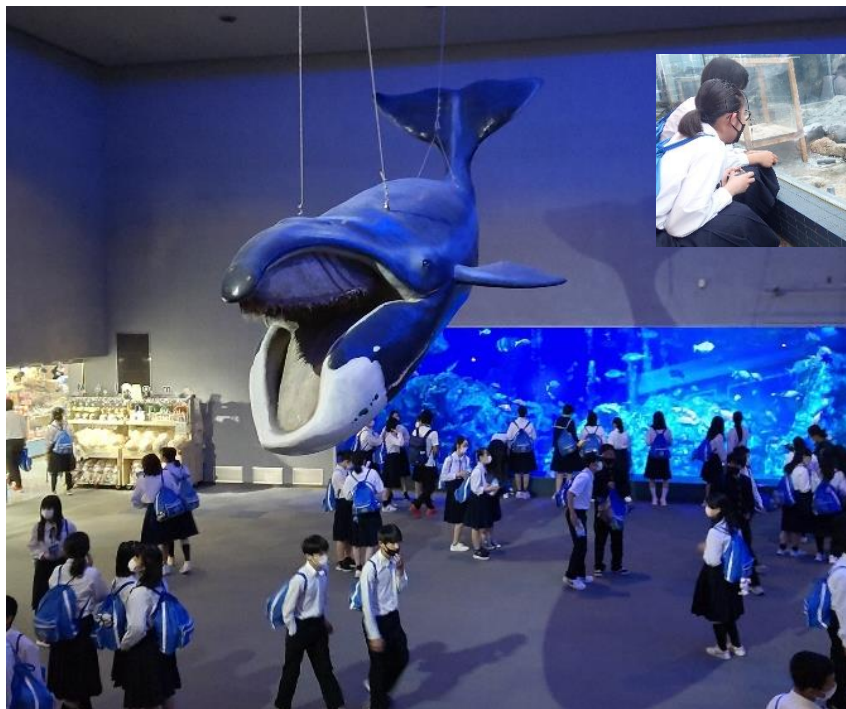


2日目：ナガシマスパーランド

終日ナガシマスパーランドですが、天気予報が「昼くらいから雨」だったので、午前中は特に精力的に、絶叫系を楽しむ班、ほどほどの乗り物を楽しむ班が、それぞれのアトラクションを楽しみました。雨が降り始めても、アトラクション回りの足は止まらず、この日もびしょぬれになっている子もいました。



3日目：鳥羽水族館と伊勢神宮



午前中は魚や海獣たちの姿に癒され、午後からは来年の春を見据えて神頼みをしました。実施までは、中学校での初めての校外学習ということもあり、時間・けじめ・和など集団行動がきちんとできるかなど不安がありましたが、杞憂に終わりました。宿泊を伴う校外での活動ではありましたが、検温・消毒・黙食等も普段通りに行えました。3日間を通して感じたことは、みんなが純粋に「この3日間を楽しもう」としていたことです。いろいろな制限の中で生活してきたからこそ、自分勝手な行動をとることもなく、互いに気遣いしながら、時間や約束・決まりの範囲内でそれぞれが楽しんでいたように思います。3日間大きな事故やケガ・体調を崩すこともなく、無事に行って帰って来られたこと、そして帰着後数日たっても発熱等の体調不良を訴える子が多数出るということもなかったこと。「無事」、これが何よりです。